

# バンダイナムコグループを取り巻く リスクと機会

## グループを横断する主なリスクと機会

	リスクと機会	対応
IP軸戦略推進に伴うもの	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場や顧客の急速な変化、技術の進化</li> <li>特定のIPへの依存</li> <li>IP創出や取得、保護に関する投資の増加</li> <li>競争の激化</li> <li>IPを活用した商品・サービスの品質面などにおける不具合</li> <li>知的財産の侵害などIP価値の毀損</li> <li>IP軸戦略を推進する人材の確保と育成</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「パーパス“Fun for All into the Future”」の浸透によるブランド価値の向上、中期計画における重点戦略の推進に加えて、下記の取り組みを実施</li> <li>フィジカルとデジタル両面の事業カテゴリー展開による連携などの相乗効果の発揮</li> <li>新たな事業やビジネスモデル、プラットフォームへの取り組み</li> <li>ユニット間連携などALL BANDAI NAMCOでの総合力発揮に向けた組織再編の実施</li> <li>外部パートナーとの協業強化</li> <li>バランスのとれたIP・事業・地域ポートフォリオの確立</li> <li>品質管理・検査体制の強化、従業員教育・サプライチェーンマネジメントの強化</li> <li>クオリティ重視の開発体制強化</li> <li>戦略的な投資の実施</li> <li>模倣品排除を含む知的財産の適切な活用と保護、社内外向け啓発活動の実施</li> <li>多様な人材が活躍できる制度や仕組みの導入を含む尊重しあえる職場環境の実現</li> <li>健全な財務体質基盤の強化</li> </ul>
人材活用に関するもの	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>IP軸戦略をグローバルで推進する人材の確保、育成</li> <li>外部のクリエイター人材や外部パートナー企業との関係構築における競争激化</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループにおける「パーパス“Fun for All into the Future”」の浸透に加え、下記の取り組みを実施</li> <li>多様な人材が活躍できる制度や仕組みの導入を含む尊重しあえる職場環境の実現</li> <li>従業員を対象としたエンゲージメントサーベイの実施</li> <li>グループに閉じないオープンな協業の推進</li> </ul>
気候変動などの自然環境の変化	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>炭素規制やプラスチック利用規制による原材料や生産・調達コストの上昇</li> <li>新技術の導入や研究開発、設備投資に伴うコストの増加</li> <li>自然災害による財物損壊やサプライチェーンの中断、資源の枯渇</li> <li>外出意欲の低下に伴うライブ、店舗運営事業の売上減少</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素施策に向けた取り組みの推進</li> <li>サーキュラーエコノミーの推進</li> <li>環境配慮商品の推進</li> <li>廃棄物削減</li> </ul> <p>注：バンダイナムコグループの5つのマテリアリティに関するリスクと機会については当社WEBサイトに掲載しています。</p>
情報セキュリティに関するもの	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイバー攻撃などによる情報流出や事業システムへの影響</li> <li>技術の進化、法令などの変化</li> <li>社内の情報リテラシー低下</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視の強化や脆弱性対策の強化</li> <li>情報セキュリティ部門の拡充</li> <li>情報セキュリティ教育の強化</li> <li>最新情報の収集、外部専門家との関係強化</li> <li>世界各国の個人情報保護法令に準拠した個人情報管理体制の構築</li> </ul>
その他の外部要因に伴うもの	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>天災、事故などの災害</li> <li>政情変化</li> <li>法令、規制などの改正</li> <li>為替の変動</li> <li>感染症などの拡大</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP、BCMに基づく訓練などの活動推進、継続的な見直し</li> <li>リスクマネジメント体制の強化</li> <li>各事業や地域の最新情報の収集と共有体制強化</li> <li>各国・地域の政府・自治体の要請や状況に基づいた取り組みの実施</li> <li>衛生管理の徹底</li> <li>支援金の拠出や事業を通じた施策など社会的支援の実施</li> </ul>

バンダイナムコグループが中長期にわたって持続的な成長を続けるためには、環境変化にスピーディに対応し、グループを取り巻くリスクと機会を認識するとともに、それらへの対応を検討し実行することで、リスクの低減と機会の最大化をはかる必要があります。トップミーティングや各種委員会において、リスクや機会となり得る情報の分析や共有を行い、対応策を検討することにより、適切なリスクマネジメント体制を確保します。また、環境の変化により生じた新たな機会をチャンスと捉え、様々な取り組みを行います。

## 各事業における主なリスクと機会

	リスクと機会	対応
全事業	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク環境の普及・拡大</li> <li>技術の進化</li> <li>デジタル化推進による顧客とのタッチポイント拡大</li> </ul>
エンターテインメントユニット デジタル事業	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラットフォームの多様化</li> <li>技術の進化</li> <li>開発期間の長期化と投資額の上昇</li> <li>タイトル開発における人材の確保、育成</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術や新たなプラットフォームへの対応</li> <li>IP認知度向上の取り組みやグローバル展開の強化</li> <li>オンラインイベントなどのデジタルマーケティングやECなどデジタル対応の強化</li> </ul>
エンターテインメントユニット トイホビー事業	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術進化による新たな市場や事業、ビジネスモデルなどの可能性拡大</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術、新プラットフォームへの積極的な対応</li> <li>新たな技術などの研究や情報収集の強化</li> <li>クオリティ重視の開発体制強化、効率化</li> <li>ビジネスモデルに基づいた開発コントロール強化</li> <li>制作環境の整備、人材の獲得、育成の強化</li> <li>タイトルリリース後の継続的なファンコミュニケーション</li> </ul>
IPプロデュースユニット	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内における少子化の進行</li> <li>原油価格の上昇</li> <li>脱プラスチックに向けた規制強化</li> <li>物流コスト上昇</li> <li>生産地域の集中と品質管理</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲット層や展開地域の拡大</li> <li>開発生産におけるバリューチェーン改革、効率化</li> <li>再資源化への取り組み、新素材の研究開発など脱プラスチックへの対応</li> <li>生産拠点の分散、品質管理体制強化(品質基準の継続的な見直し、CoC監査実施など)</li> </ul>
アミューズメントユニット	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>IP創出における競争激化</li> <li>作品制作における人材の育成、確保</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタジオ機能とプロデュース機能の集約</li> <li>映像・音楽・ライブイベントのノウハウ集約</li> <li>制作環境の整備、人材の獲得、育成の強化</li> <li>制作技術向上のための投資</li> <li>社内外のあらゆるパートナーとの連携強化</li> </ul>
	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアルな場を活用したエンターテインメントの多様化</li> <li>燃料価格、人件費の上昇</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>IPや商品・サービスなどグループリソースとの連携強化</li> <li>効率化の推進、事業の安定基盤強化</li> <li>多様な働き方への対応</li> </ul>